

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について 市民説明会
日時	平成 27 年 8 月 28 日（金） 午後 6 時 30 分～午後 7 時 45 分
会場	中野市立長丘小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 50 人・教育委員会出席者 11 人 教育委員 5 人、教育委員会事務局 6 人・報道機関 2 人
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

- 1 開会 進行：教育次長
- 2 あいさつ 教育委員長
- 3 基本方針（案）について 学校教育課長から資料に基づき説明
- 4 質疑

意見

- 審議会では、1学級あたりの人数は25名程度が良いとなっているのに、なぜ長野県の30人規模という標準基準（1クラス35人まで）にしたのですか。世界的には、アメリカは18人、ドイツは20人というように、少数学級で勉強すると学力が上がるという統計が出ています。中野市は子供達のために少人数学級で勉強していくことを進めるべきだと思います。
- 児童数のデータを使用するにあたり、今年は平野小学校では新しく60戸位分譲地が出来上がる予定で、平岡小学校でも今年だけで20戸できますが、そのことも考えながら、平成32年のデータを考えているのでしょうか。私の周辺の団地は、買ったときは12戸で、小学生が30人ほど増え、多いときは40何人増えています。
- 国が学校の統廃合を進めるということは、義務教育の良さを減らし、教職員を減らしたいという考え方が財政的にあると聞いていますが、このまま行くと、統廃合では中野市の教員数はどうなっていくのですか。資料にもありますが、一定数の教員を確保することで児童生徒と向き合える時間が増えるとしています。具体的にはどういうことですか。小さい学校の良さというのは、生徒一人ひとりに細かな指導ができて、先生と子供達が触れ合う時間が多いことだと思います。
- 長丘小学校は平成61年まで対応年数があり、体育館は近隣ではすごく優秀な体育館で、グラウンドは中野市で一番水はけが良いです。この教育施設を放棄して平岡小学校に行くというのは、納得いきません。長丘小学校を高社中学校の通学区域の中で選んでいけるようにして、平岡小学校と長丘小学校を残して、科野小、倭小の人達は人数が少ないので、長丘小へも自由に行けるという、通学区選択制度を採り入れたらどうですか。

回答

- 長野県の30人規模学級（1クラス35人まで）の基準ですが、国はもっと大人数の基準となっているのに対し、長野県は山間地も多く、小学校が大変多いということで、1クラスの人数を下げているという現実があります。一桁では少ないですが、やはり20人、25人位の方がやりやすいという先生方もいます。

- 平岡小学校で新しい住宅が出来て、子供達が増加していくのを見越しているかどうかということですが、現在の子ども達の数的前提にしています。この地区だけに限らず、他でもあろうかと思っておりますので、参考にしていかなければと思っています。
- 教職員の数というのは、学級数によって決まってきます。何学級の場合には、教職員何人とかになります。なお、中野市では、学習が遅れがちなお子さんや支援が必要なお子さんに対して、支援員を付けていますが、非常に沢山の人数を配置しています。各学校の校長先生から要望をいただきながら、市教委としては、できるだけ先生方の要望にお応えするという事で、担任の先生の支援をしています。
- 通学区の選択制についてであります。自分達で自由に学校を選べる選択制というのは、非常に子供達の偏り、人数の偏り、男女比の偏りなどが懸念されます。もう一つは、先生方の意識の問題ですが、無用な競争意識、つまりは子供達が他の学校に行かれては学校が成り立たないということが、東京でも例がございます。特に中学校になりますと、進学の実績や、あるいは良い先生がいる、良くない先生がいるというのは保護者の間ではすぐ評判になるという、そのような例もあるということです。混乱という大げさな言葉を使いたくないですが、そのような心配も含め、教育委員会としては学校選択制もテーブルに乗せて議してきたわけです。
- 長丘小学校は、グラウンドの水はけも良く、校舎が新しいということで、ぜひ残してほしいということですが、もし統合になった場合の跡地利用については、これから検討の段階に入るところですので、地域のコミュニティ的な場で使うなど、有効に活用できるよう検討していきます。現時点では総合的に判断して、平岡小が良いのではないかとこの基本方針を出しております。

意見

- 学校選択制は懸念されるといった関係で、平岡と長丘など、狭いエリアの話ですから、混乱はおきるのかなという思いが個人的にはあります。
- 子どもを持つ親として、今回の件を知ったのは新聞でしたが、そのことに対して市に憤りや不信感を覚えますし、そういったことを今後しないでいただきたい。また、説明会でただ資料配って説明されても、いきなり質問もできないので、前もってこういう資料をもらっていただければ考えてくれます。今日教育委員会の皆さんが説明責任を果たしましたということで、数か月後に合併になったということ、新聞紙上で私たちが知ることがないようにしてもらいたい。

回答

- あくまでもこの基本方針は案ということであり、ホームページなどによる公開や、説明会の中でご意見をお伺いし、この案を理解していただき進めていきたいというのが、私たちのお願いですが、もしどこかを変えたいということがあった場合には、変更も一部有り得るということです。それと、先ほど急に資料を渡されてもという話がありましたが、パブリックコメントということで意見を募集しておりますので、意見や要望をお寄せいただければ、目を通して参ります。

意見

- 資料4の平成32年5月の児童生徒数ですが、今から5年後の目安ということで出したと思うのですが、数値が合っていません。平成27年の1年生が平成32年になると6年生になるので、平成32年の6年生の数値は平成27年の1年生の数をいれるべきではないかと思えます。資料5の統合の学級数を見ると、長丘、平岡、科野、倭は74人となり、30人規模学級だと3クラスになります。統合となる平成30年だと、421人というかたちで全然数値が違ってしまいます。平成27年と平成32年のデータは、これはこれで5年後の推移で結構ですが、せめて数値を合わせてくるのが当然だと思います。
- また、5頁の③で、『校舎分離型の小中一貫校を推進することで、学級数や児童生徒数からくるデメリットを可能な限り克服できる』ということですが、ここでいう学級数、児童生徒数というのは、統合前の数か、統合後の数か、どちらですか。

回答

- ここでいう学級数、児童生徒数というのは、統合前の数であります。

意見

- そうすると、小中一貫校にすることで、学級数や児童生徒数からくるデメリットを可能な限り克服できるということですが、これは小中一貫校でないとダメなのかという気持ちがあります。また、校舎分離型の小中一貫校というのが漠然としています。それと、平岡小学校に行くようになったとして、私は平岡小学校に行ったことがなくて分からないのですが、教室の数は十分にあるのでしょうか。

回答

- 普通教室が不足するということになりますと、今後、整備計画等により内部で調整して、不足する場合には改修していきたいと思えます。

意見

- 今現在の1年生、2年生、3年生を見ると、すべて70人を超えているので、そうなる教室の数が全然足らなくなるので、作る方向で検討していただきたいと思えます。

意見

- 先ほどの、児童生徒数が違うということについて説明して下さい。

回答

- 資料4の平成32年5月1日現在につきましては、平成26年度の答申をいただいたときの資料をもとに、その当時の人数の予定で書いてあるため、平成27年5月1日を基準とした人数とのズレが生じておりますが、資料については整合性を図って調整したいと思います。

意見

- 資料4の平成27年度の長丘、平岡、科野、倭の一年生は74人で、平成32年になると、当然その子達は6年生になるわけですから、74人ということは3クラスになりますので、資料5のクラス数も違ってくると思います。

回答

- ご指摘いただきました点には、もう一度よく精査いたしまして、数字の整合を図れるようにします。

意見

- 2頁④に『一定の教員数の確保により、児童生徒と向き合える時間が増え、学校の運営組織の効果的な編成が期待できる学校規模であること』と書いてありますが、統合することで1クラス的人数が今より増えるということは、児童生徒と向き合える時間は減ると思うのですが、向き合える時間が増えると言える根拠を教えてください。

回答

- 例えば、10人の子どもを1人の先生が見る場合と、20人の子どもを1人の先生が見る場合とでは、当然少ない人数の方が目が届くということは、現場の先生方も感じています。ただ、教師が子ども達を手厚く見れる反面、子供達的人数が少ないことのメリット・デメリットが出てきます。子ども達が1つの教室の中でグループ活動ができたり、グループで考えを練りあったり、自分の考えを出し合ったり、友達の意見を聞いたり、刺激を受け合うことができるかを含め検討してきております。10人の学級より20人の学級の方が、子供達のために良いのかなという結論に至っているわけでありませぬ。

意見

- 子供達の意見は聞いていただけなのですか。

回答

- 今ところ、子供達の意見を聞くと言う場の設定予定はありません。

- パブリックコメントで意見を募集していますので、そこに子供さんの意見を書いていた
だければと思います。

意見

- それは子どもが書いても大丈夫な物ですか。

回答

- 子供でも親でも誰でも大丈夫です。

意見

- それはちゃんと聞いてもらえるのですか。読んでもらえるのですか。

回答

- いただいた意見はすべて目を通しますが、すべて反映できるということではありません。

意見

- 中野市は財政が厳しいとか、国の方針で教育予算を減らすとか、そのようなことではなく、子どもや孫たちにお金を一番かけるべきだと思います。財政問題で、市の庁舎、平野小学校の建て替え、市民会館はまだめどもついていない状態、こんな財政問題の中で、予算が少ないから30人規模の学級というのではなく、あくまで小規模学級にしてからの統合を考えていただきたいと強く願っています。

意見

- 私は、基本的にこの構想に賛成です。先ほどから一人の先生に対して何人の児童生徒がふさわしいのか議論になっておりますが、私が子どもの頃、今から50年も60年も前の話になりますが、1クラス50人前後でした。今お示しいただいている平成32年の児童生徒数を見ますと、科野、倭、長丘は一桁になってしまいます。やはり、ある程度の集団の中で子供達が切磋琢磨してこそ、社会対応というのができてくるのではないかと考えます。少なくすればいいというわけではないと思います。統合というのはやむを得ないし、地域のよりどころとしての学校がなくなるというのは、年寄りとしてもさみしいわけではありますが、子供達のためには仕方がないと思います。

意見

- 私、基本的には統合はせざるを得ないと思います。小規模校で先生によく見てもらうというのは一つの考え方ではありますが、ある程度的人数の中で揉まれて人間が成長していくというのも大事であると思っています。
- お聞きしたかったのは、古牧地区から平岡小学校までは約5キロで、一番北部の岩井東からは8キロ以上になるかと思われませんが、通学路ですとか、スクールバスを充実させて

いただきたいと思います。今までの基準で行きますと、小学校は4キロという基準があったわけですが、今度の統合においては、それ以上の距離になってしまいますので、できればスクールバスで小まめに回っていただきたいと思います。現状では、私の地区からも小学校・中学校ともに親が送迎をしているという姿も見受けられますので、スクールバスの運用を小まめにお願いしたいと思います。

回答

- この案で統合し、距離が遠くなってしまう場合には、スクールバス等で対応し、保護者の方や子供達に負担をかけないようにしたいと思います。通学路も、安全の確保ということで見直しを行い、必要があれば改修ということも考えております。

意見

- スクールバスは有料ですか、無料ですか。

回答

- 無料です。距離の条件さえあれば利用可能です。

意見

- 距離の条件が4キロというのは私も知っているのですが、例えば、壁田でも近いところと遠いところがあるもので、あっちの子はバスで、こっちの子は歩きでというようなことがないようにしてほしいです。また、科野・倭方面からバスが来るとなると、平岡小学校でバスが停まったり、乗ったりする広さはありますか。

回答

- バスの基準は概ね4キロとなっていますが、細かなことは、今後協議の中で対応したいと考えています。もし統合ということになりましたら、大型バスですと、学校内に乗車する敷地もなく、それぞれ回るのにも時間がかかりますので、地区ごとに小型のワゴン車等を出して、対応することも検討しています。

意見

- 長丘小学校は非常に人数が少ないのは分かっていますが、先生もとてもよくやっただいてますし、小規模校で学ぶデメリットは納得するのですが、それでも長丘小学校が存続できればと思っています。山間地の小学校では、20人とか30人ということで、複式学級という話になってしまいますが、私は、複式学級になるまでは、長丘小学校が続いてほしいと思っています。

意見

- 小中一貫校ということが資料には書いてありますが、南宮中学校管内、高社中学校管内、どこもそうだと思うのですが、クラス替えをすることによって不登校になってしまう生徒も多いと聞きますが、小中一貫校にすることによる弊害についてはお考えでしょうか。

回答

- 確かに昔から、クラス替えが原因でクラスに馴染めなくなってしまったという保護者の声はあります。ただ、クラス替えによって多くの子供達がお互いに友だちになってほしいという考えがございます。それから、小中一貫校については、9年間を一本に通した教育課程ができるというプラス面があります。それにより、子供達の学力や興味・関心、学ぶ姿勢、自分達で課題をもって追求していく姿勢が期待できると言われています。

5 閉会 (PM7 : 45)